

第 60 回近代五種全日本選手権大会



男子個人 2等陸曹

嶋野

光

2年ぶり3回目

優勝

逆転優勝

令和2年11月27日から29日の間、栃木県において第60回近代五種全日本選手権大会が開催された。自衛隊体育学校近代五種班からは三口智也2等陸尉以下男子8名、女子6名が出場し、男子は嶋野光2等陸曹が、女子は島津玲奈3等陸曹がともに2年ぶり3度目の優勝を果たした。



激走後の射撃をも冷静に実施する嶋野2曹

佐藤大宗3等海曹は水泳を9位、フェンシングを2位に付け、総合2位で馬術競技に挑んだが、馬術競技で障害落下による減点を受けて12位となり、総合6位でレーザーランを迎えた。レーザーランではトップから30秒後にスタートを切った佐藤3曹、持ち前の走力で上位選手を次々に追い抜き見事第2位でゴールした。

初の表彰台へ

大西渚生3等陸曹は水泳を3位、フェンシングを7位、馬術競技を満点で終える好発進を見せ、総合2位でレーザーランに挑んだ。

トップ選手から18秒後にスタートを切った大西3曹は先輩2人の激走に負けじと最後まで粘り強く走り切り、佐藤3曹のゴールからわずか2秒後に第3位でゴールし、自身初の表彰台を決めた。



着々と力をつける大西3曹

嶋野2曹は「たくさんの応援ありがとうございました。コロナ禍でこういった大会が開催できたことがとても有難いことですし、その中で優勝できたことはすごく嬉しいです。オリンピックの棒がまだ一棒残っているの、獲得できるように頑張ります。大会関係者のみなさん、応援してくださったみなさん、本当にありがとうございました。」と試合後、感謝と今後の抱負を述べた。

力走で2位浮上



6番出走から猛追を見せる佐藤3曹





2年ぶり3回目

優勝

女子個人 3等陸曹
島津玲奈

大会2日目の28日には女子の3種目が行われた。

島津玲奈3等陸曹は水泳を3位、フェンシングを2位で終わると総合1位で馬術競技に挑んだ。馬術競技でも落ち着いた乗馬で見事300点満点を獲得し、1位で翌日のレーザーランに繋がった。トップでスタートを切った島津3曹と2位スタートの選手とのスタートタイム差は14秒と大きくはなかったが、日本のトップを牽引し続けて来たベテランはスタート直後から圧倒的な強さを見せ、他の選手に一切の追従を許さず、2位の選手に1分近くの差をつけてゴール。完全勝利で2年ぶり3度目の優勝を飾った。

フェンシングの試合中から後輩たちに気を配り、やる気を鼓舞し続けた女王は自身のゴール後も次々とゴールしてくる所属選手たちに労いの言葉を掛け、先輩としての強さと優しさも見せた。

ベテランの意地で魅せた



1分のタイム差を覆す室塚3尉

室塚詩乃3等陸尉は水泳を12位、フェンシングを3位、総合4位で馬術競技に挑んだが障害減点を受け3種目終了時点で5位と順位を落とし、レーザーランを迎えた。トップの島津3曹から1分14秒後、2位の選手から1分後にスタートを切った室塚3尉は驚異的な追い上げをみせた。正確な射撃と持ち前の走力で若手選手を圧倒。女子の出場選手のなかで最年長のベテランが意地をみせ、見事第2位でゴールした。

順位の変動が目まぐるしく大混戦となった女子のレーザーラン競技は、ベテランの2人が後輩選手たちにしっかりとその強さを見せつけ、幕を閉じた。

島津3曹は「このコロナの大変なかで全日本選手権を開催して頂いたことにとても感謝しています。オリンピックが延期になりモチベーションを保つことがとても難しかったのですが、その中で最後の出場だと決めていた全日本選手権で優勝できたことは、これからの東京オリンピックの枠をかけた戦いの糧になると思います。応援ありがとうございました。」と試合後に話し、これから行われる国際大会への意欲を示した。

完全勝利



馬術を満点で終え笑顔の島津3曹

総合成績 (メダリスト)

男子個人

順位	階級	氏名	総合得点	出身
優勝	2等陸曹	嶋野 光	1474点	神奈川県
第2位	3等海曹	佐藤大宗	1463点	青森県
第3位	3等陸曹	大西渚生	1461点	宮崎県

女子個人

順位	階級	氏名	総合得点	出身
優勝	3等陸曹	島津玲奈	1400点	熊本県
第2位	3等陸尉	室塚詩乃	1344点	高知県

男子団体

優勝 自衛隊体育学校 A

2等陸尉 三口智也

2等陸曹 嶋野 光 3等海曹 佐藤大宗

第2位 自衛隊体育学校 B

3等海曹 桑原慶斗

3等陸曹 大西渚生 3等陸曹 藤巻啓太郎

